

# 種子島の産婦人科を みんなで応援しましょう

ボランティアグループあい・愛は、種子島産婦人科医院を応援します。種子島で安心して出産できる環境や、女性の健康を守る種子島産婦人科医院が今後も継続していけるよう、お手伝いします。



平成 28 年 5 月リニューアルオープン



## 住吉先生、8 年間に感謝

住吉先生は、平成 20 年新たに公立産婦人科医院の唯一の先生として着任されました。種子島の公立病院開業当初の混乱や本土に緊急搬送するなどの離島医療の難しさに立ち向かわれ、大変ご苦労されました。

(現在鹿児島市在住)



## 前田宗久院長 コロナ対応でも頑張っています。

種子島産婦人科医院では出産時に輸血を必要とする妊婦さんに対し、事前に予測できる場合は、本人の血液を採血し輸血用に準備することで、母体の負担を少なくすることができます。血液を安全保管するなどの病院スタッフの技術向上により、これまでは鹿児島市内へ行く事例が種子島でも出産できるようになりました。



## こんなご協力をお願いします。

- 1) **未使用のタオル**を集めています。バスタオルや手ぬぐいなどでも歓迎です。あかちゃんの三角よだれかけや掃除用など、多目的に使用します。
- 2) **布**を提供してください。未使用や古いゆかた着など。よだれかけや、お祝いセットの巾着、または赤ちゃん用マットカバーなどに使います。
- 3) **手作り人形や折り紙などの作品**もご寄附ください。病室や病院内を明るくします。

産婦人科医院は島の宝。

女性の味方。

みんなで応援しましょう。

